

令和3年7月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和3年7月分について、輸出額は「自動車」などが減少したものの、「通信機」、「自動車の部分品」などが増加したことから対前年同月比24.7%の増加となった。また、輸入額は「非鉄金属鉱」などが減少したものの、「液化天然ガス」「石油製品」などが増加したことから、同40.6%の増加となった。その結果、差引額は359億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	660億円	+24.7%	1,019億円	+40.6%	▲359億円	+83.2%
	4ヵ月連続の増加		4ヵ月連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 通信機	29億円	260倍	輸入	増加品目	(1) 液化天然ガス	230億円	+72.2%
		(2) 自動車の部分品	50億円	+103.6%			(2) 石油製品	101億円	+257.1%
		(3) 有機化合物	58億円	+67.9%			(3) 原油及び粗油	367億円	+21.8%
	減少品目	(1) 自動車	43億円	▲42.7%		減少品目	(1) 非鉄金属鉱	5億円	▲67.2%
		(2) 鉱物性タール及び粗製薬品	12億円	▲46.5%			(2) 粗鉱物	0億円	▲95.6%
		(3) 科学光学機器	16億円	▲37.7%			(3) 織物用糸及び繊維製品	2億円	▲42.9%
地域別動向	アジア、中南米が増加、西欧は減少			地域別動向	アジア、中東が増加、大洋州は減少				

(参考) ドルレートは、110.55円（前年同月比3.1%、3.32円の円安ドル高）であった。
(注) 月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。